

一般社団法人日本循環器看護学会
令和5年度 第2回WEB理事会 議事録

- 1.日 時 令和5年(2023年)11月21日(火) 18時00分から20時00分まで
2.場 所 オンライン(Zoom)
3.出席者 眞嶋 朋子、籀持 知恵子、池亀 俊美、稲垣 美紀、宇都宮 明美、大江 理英、
落合 亮太、小泉 雅子、齊藤 奈緒、竹原 歩、三浦 英恵、山中 源治、
鷺田 幸一、坂本 明子、山内 英樹(以上理事)
瀬戸 奈津子、吉田 俊子(以上監事) 以上18名中16名出席(定足数8名)
欠席者 眞茅 みゆき(以上理事)

4.会議の目的事項並びに議事の経過の要領及び結果

以上のとおり定款第28条の定める定足数を満たす理事の出席があり、本理事会はWEB会議システムを用いて開催されるため出席者の音声と映像が即時に他の出席者に伝わり、適時的確な意見表明が互いのできる状態となっていることが確認されたことで本理事会が成立したため、定刻、眞嶋理事長が開会を宣した。

(審議事項)

第1号議案 前回議事録の確認について

眞嶋理事長より、前回理事会議事録(案)及び書面理事会議事録(案)が示され、議場にその承認が求められたところ、異議なく承認された。

第2号議案 新規入会者・退会者の承認について

総務委員会より、新規申請入会申請者4名、退会希望者25名について議場にその承認が求められたところ、異議なく承認された。

第3号議案 社会貢献委員会委員について

社会貢献委員会委員として11名の委員就任が異議なく承認された。

第4号議案 JACN 会員シース調査およびデータベース運用について

総務委員長より、会員シース調査及びデータベース運用について、資料に基づき説明がなされた。理事より、データベースの策定は良い提案であるが、運用範囲や収集するデータ範囲に改善の余地があるなど意見交換がなされた。さらにデータ更新は会員の善意によるところが大きい為、収集方法や収集内容等、継続審議事項となった。

第5号議案 国際交流委員会からの審議事項について

国際交流委員長より下記3点について国際交流委員会の議事録を用いて説明がなされた。

- ・ACNAP 若手アンバサダーの選出方法
- ・ACNAP National Societies Award 候補の選出方法
- ・国際交流関連情報の会員への周知

上記について、HP への掲載やメール配信を用いて公募や周知を行ことが異議なく承認された。

第 6 号議案 コア・コンピテンシーについて

学術委員長より「慢性心不全患者への看護を実践する看護師のコア・コンピテンシー」の研究スケジュールや概要が資料に基づき説明された。研究を行うにあたり、提案されたワーキンググループの発足が異議なく承認された。

第 7 号議案 循環器病研究振興財団からの依頼について

眞嶋理事長より、循環器病研究振興財団からお礼状と共に今後の学会での継続発表に関して検討依頼が届いた旨、資料に基づき説明がなされた。審議の結果、以下の 4 点が異議なく承認された。

- ①今後も学術集会において看護研究発表会を継続開催を認めること
- ②発表者・共同研究者共に学会加入を義務付けないこと
- ③抄録等への掲載は不要とすること
- ④研究会参加者が学術集会に参加する場合、参加費を支払うこと

第 8 号議案 照林社の書籍シリーズ企画について

眞嶋理事長より、株式会社照林社から書籍シリーズ企画の執筆依頼をされた旨、資料に基づき説明がなされた。審議の結果、他学会からの書籍の刊行時期等を踏まえ、詳細な内容を学会として聴取した後、正式な諾否の回答を行うこととなり、継続審議となった。

第 9 号議案 ジョイントセッションの検討について

国内交流委員会委員長より、第 30 回日本心臓リハビリテーション学会学術集会におけるジョイントセッションの検討について資料に基づき説明がなされた。審議の結果、異議なく承認された。

(報告事項)

1. 学術委員会活動報告

第 43 回教育セミナーについて学術委員長より、資料が示され、開催直前の報告がされた。

【第 43 回教育セミナー】

- 会期:2024 年 2 月 18 日(日)Zoom ウェビナーによるライブ配信(オンデマンドなし)
- テーマ:循環器疾患の緩和ケア～根拠にもとづいた全人的ケアをエキスパートから学ぶ～
- 参加費:会員(2,000 円)非会員(4,000 円)
- 定員:500 名(先着順)

2. 学会誌編集委員会活動報告

学会誌編集委員会委員長より資料に基づき以下 3 点の活動報告がなされた。

- ①学会誌発刊・査読状況
- ②第 20 回学術集会交流集会の開催

③令和5年度第1回学会誌編集委員会の開催(予定)

3.政策・診療報酬委員会活動報告

政策・診療報酬委員会委員長より資料に基づき以下5点の報告がなされた。

- ①第20回日本循環器看護学会学術集会での2演題の発表
- ②①の内容を含めた実態調査の内容を学会誌投稿の為準備中である
- ③令和6年度診療報酬改定に関する要望書の進展
- ④日本看護協会会長への訪問取りやめを経て、他学会へのロビー活動を検討中
- ⑤委員会開催の予定

4.広報委員会活動報告

広報委員会委員長より資料に基づき活動報告がなされた。また、HPの更新にあたり、他の委員会とも連携して活動を行い、より充実したコンテンツを展開していく方針である旨、併せて報告された。

5.倫理委員会活動報告

倫理委員会委員長より総務委員会と共に、COI申請方法について検討を行った旨、報告がなされた。

6.国内交流委員会活動報告

国内交流委員会委員長より、他学会からのジョイントシンポジウムの講師派遣依頼について、理事長審議の結果、承認され、当会から講師が派遣された旨、資料に基づき報告がなされた。

7.国際交流委員会活動報告

国際交流委員会委員長より、委員会が開催された旨、資料に基づき報告がなされた。

8.選挙管理委員会活動報告

第6期代議員選挙、理事・監事選挙のスケジュール及び選挙告示について資料に基づき報告がなされた。

9.将来構想委員会活動報告

将来構想委員会委員長より、今年度の活動計画についての意見交換結果について報告がなされた。

10.総務委員会活動報告

総務委員長より、本会が行う会員向けの調査等の進め方において、活用できるよう、Microsoft Office アカウントを作成した旨、報告がなされた。また、Zoomの利用について、Mi

crosoft Office アカウント同様、再度委員長へ周知を図る旨、案内がなされた。併せて、今後は研究助成の評価・改善活動を進める旨、報告がなされた。

11.第 21 回学術集会準備状況報告

三浦英恵大会長より、第 21 回日本循環器看護学会学術集会の開催準備進捗状況の報告がなされた。

【第 21 回日本循環器看護学会学術集会】

- 会期:2024 年 11 月 9 日(土)・10 日(日)※後日オンデマンド予定
- 場所:日本赤十字看護大学広尾キャンパス(東京都渋谷区広尾)
- テーマ:循環器看護のダイバーシティからの創造～ひろがる、うまれる～

現在主要セッション 3 題が内諾済みの状況。企画委員会を開催しながら、スケジュールに沿った準備を進めていくことを資料に基づき報告がなされた。

12.学会支援機構との契約書について

総務委員長より、学会支援機構との契約書及び料金表を確認しつつ来期も契約を継続する旨、報告がなされた。料金表に伴わない業務については別途相談するよう周知された。

WEB会議システムを用いた理事会は終始異状なく、議長は以上をもって、本日の議案の審議を全て終了した旨を述べ、閉会を宣した。

以上、この議事録が正確であることを証するため、出席した理事長及び監事がこれに記名押印する。

令和 5 年 11 月 21 日 一般社団法人 日本循環器看護学会 理事会

理事長 眞嶋 朋子

監事 吉田 俊子